ちいきしんぶん 9.4

2020(令和2) No.1308

■発行所／ライフケア群栄(株)高崎市小八木町312-15ビジネスパーク小八木　TEL027(370)2262　FAX027(370)2263

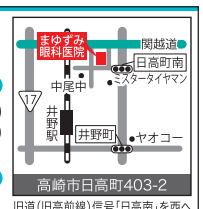
ちいきしんぶんは、旧高崎市内の約9割のご家庭や事業所のポストに無料で投函させていただいています。新規お届けもしくはご不要等、配布に関する件は上記までご連絡下さい。

まゆずみ眼科医院

●日帰り白内障手術
●神経眼科
●ドライアイ
●コンタクトレンズ

診療時間
午前　8:45～12:30
午後 15:00～19:00
(土曜のみ18時まで)

休診日
木曜日・日曜・祝祭日



高崎市日高町403-2
旧道(旧高前線)信号「日高南」を西へ

初診・再診ともに電話での予約可能　☎027-388-8461

ぐんま 謎学の旅 其ノ五

忠治外伝 末期の酒「牡丹」を探しに

江戸後期の侠客、国定忠治は嘉永3年(1850)12月21日、関所を破った罪により大戸の処刑場にて、磔(はりつけ)の刑に処せられた。その時、忠治が末期の酒に選んだのは「牡丹」という銘酒だった。

敬意を表して墓所巡礼

「赤城の山も今宵限り……」「泣くなよしよしねんねしな……」

国定忠治といえば、言わずと知れた歴史上の人物である。悪党にして、貧しい人々に金銭を与えたという義賊伝説が後の世に伝わり、講談、文学、演劇、映画、歌謡となり、現代を生きる私たちにも知られている。その人気は不滅で、いまだに県内での「群馬を代表する人物は?」というアンケートでは、ダントツのトップである。

本名、長岡忠次郎。文化7年(1810)、上野国佐位郡国定村(旧、佐波郡東村。現、伊勢崎市)に、父長岡与五左衛門、母伊代の長男(次男という説も)として生まれる。17歳の時に賭博での、けんかがもとで人を殺めたと伝わるが、一説では生涯、一人も人を殺していないともいわれている。

いずれにせよ、この頃から賭場に出入りするようになり、川越(埼玉県)の大親分、大前田英五郎や百々村(旧、境町。現、伊勢崎市)の博徒、紋次親分(木枯し紋次郎のモデルといわれている)の世話になりながら、やがて何百という子分を従える国定一家の親分となる。その後の武勇伝や波乱万丈の人生は、誰もが知るところだ。

今回、原稿を書くにあたり、敬意を表して県内3カ所にある墓所を訪ねた。まずは長岡家の菩提寺である養寿寺(伊勢崎市)。墓には、忠治の愛人のお徳が処刑場からもらい受けた首が葬られていると伝わる。その墓石は、「勝負運が強くなる」との理由からギャンブラーたちに削られて、丸くなっていた。

処刑場跡に建つ忠治地蔵

善応寺

養寿寺

善応寺(伊勢崎市)にも忠治の墓がある。一説によれば、こちらの墓には忠治の腕が葬られているという。やはり、お徳が持ち出したものらしい。

そして3つ目の墓は、終焉の地、大戸の関所跡(東吾妻町)近くの「忠治処刑場跡」にある。

加部安の酒と共に去る

嘉永3年(1850)12月21日、午前11時。関所近くの川原において、忠治は磔の刑に処せられた。享年41歳。この日はとても寒い日で、小雪が舞っていたという。それでも近在の村々からは有名な忠治を一目見ようと、大勢の人たちが集まってきた。

刑場に臨んだ忠治は、役人から「最期に何か所望するものはないか?」と尋ねられ、「それでは、近くの加部安の酒を飲ませてほしい」と答え、一杯飲み干すと、こう言った。「上州の酒を飲んで、上州の土になる。実に愉快だ」。そして役人が「もう一杯どうだ?」とすすめると、忠治はニッコリと笑って、「死に臨んで酔っ払ってしまうのは、死を恐れる者のすることよ」と、2杯目を断ったという。

この酒が〝牡丹〟である。加部安とは商号で、加部安左衛門という豪農が醸造していた酒だった。

上野国吾妻郡大戸村(現、東吾妻町)の加部安左衛門(世襲)は、上州の三富豪として「一加部、二佐羽、三鈴木」といわれる筆頭に挙げられていた。寛永8年(1631)、4代目重常の時に関所が設置され関守となり、安永8年(1779)に7代目重実が農業のほか酒造業を始めた。加部安は代を重ねるごとに繭や麻の仲買、金融業など多角経営を行い、巨万の富を築いたという。

加部安の井戸

忠治が出会ったのは11代目の重義だった。忠治が信州へ行く途中、加部安の家にわらじを脱いで一泊した晩のこと。忍び込んだ盗賊を退治した忠治の度胸の良さに加部安はすっかり惚れ込んでしまい、自慢の酒を振舞ったという。

〝牡丹〟とは、どのような酒だったのだろうか? 天保9年(1838)の「幕府巡見使」という日記の中に、その味が記されている。〈この村内に加部安左衛門といえる持物の大家あり……農作之外酒造もいたし……家の銘酒ニテ牡丹といへるありといふ……味醂酒よりも猶(なお)あまく、またミリんの匂ひなし、いかにも銘酒というべし〉と、かなり甘口の酒だったようだ。

加部安は約150年前の12代目嘉重の代で、醸造をやめてしまっている。今は関所跡近くの屋敷跡に、酒造りに使用されたといわれる井戸が残るだけである。

(フリーライター／小暮　淳)

〈参考文献〉
●「国定忠治とその外伝130話」(上毛新聞社)
●「国定忠治おんな列伝」(吾妻書館)
●「加部安左衛門〝江戸期在郷商人の事績〟」(みやま文庫)　ほか

小沼ようすけトリオ
YOSUKE ONUMA TRIO
2020年 9月19日(土)
18:00 開演 (17:15 開場)
高崎芸術劇場 スタジオシアター
出演 小沼ようすけ (ギター) カイ・ペティート (ギター、ベース、ヴォーカル) 岩原大輔 (パーカッション)
チケット料金(税込) 全席指定 4,000円

小曽根真 featuring No Name Horses
圧倒的なパフォーマンスと尽きない興奮
世界を舞台にさらなる飛躍を遂げるスーパー・ビッグバンド
2020年 10月30日(金)
19:00 開演 (18:15 開場)
高崎芸術劇場 大劇場
出演 小曽根真 (ピアノ、ハモンド・オルガン) No Name Horses (ビッグバンド) ★スペシャル・ツアーメンバー: 山岸竜之介 (エレキギター)
チケット料金(税込) 全席指定 S席 完売 A席 4,000円 B席 3,000円 U-25(B席) 1,500円

高崎芸術劇場 TAKASAKI CITY THEATRE
JR高崎駅 東口から徒歩5分
〒370-0841 群馬県高崎市栄町9-1

チケットご購入
WEB 高崎芸術劇場メンバーズ (受付開始日の10:00～24時間受付) 高崎芸術劇場メンバーズ 登録無料
TEL 高崎芸術劇場チケットセンター (無休) TEL.027-321-3900 (10:00～18:00)

前後左右を空け、定数の半分以下で開催します